

身近なことから
始めよう

私たちの

SDGs

企画調整グループ
(☎05 1 1 2 2)

SDGsってなんだろう

SDGsは、2015年9月に国連サミットで採択された『誰一人取り残さない、持続可能で、より良い社会』の実現を目指す世界共通の目標です。2030年までに17の目標を達成し、より良い未来を築くことを目指しています。

私たちの家族や友人、さらに世界中の人々が明るい未来を迎えるためには、地球全体のさまざまな課題を乗り越えるアクションが欠かせません。いつもの生活を少し工夫して、世界を守るチャレンジをしてみませんか。

今日からできる身近なSDGs



- ・クールビズ・ウォームビズを心がけ、冷暖房を使わないよう工夫しよう
- ・CO2排出の少ない交通手段を使おう



- ・マイバックなどを持ち歩き、プラスチックごみの排出を減らそう
- ・海や川に行ったらごみは持ち帰ろう



- ・民間企業も市民も行政も、オール登別でSDGsに取り組もう
- ・SDGsに積極的に取り組んでいる企業や団体を応援しよう



- ・陸の生き物に関心を持ち、森などで生態系を調べよう
- ・緑化活動に取り組み、自然を感じられるまちづくりに挑戦しよう



- ・子どもたちを暴力や犯罪から守ろう
- ・震災などの被災地を訪問してみよう

17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

とうほんせいそう 東奔西走

地方創生に関する 包括連携協定締結式

1/25

1月25日、白老町と登別市は、化粧品販売・製造を行っている株式会社ナチュラルサイエンスとそれぞれ包括連携協定を締結しました。同社は、これまでも、新生児に対するギフトセットの寄附や『ナチュの森』から登別校並木への桜の移設など、市のまちづくりに貢献してきました。

今後は、相互の連携をより強化して『地域の発展やまちづくり』『子育て支援や子どもの育成』など、5つの分野で協力・連携し、健康増進と観光振興のための取り組みを進めていきます。

町じゅうを いじめ反対のピンクに

1/31

ピンクシャツ大作戦in登別

1月31日、登別市ピンクシャツデー学生実行委員会が市役所を訪れ、『ピンクシャツ大作戦in登別』への協力を依頼しました。昨年11月に開催した『鬼っ子フォーラム』をきっかけに、市内の高校生が中心となり企画した『ピンクシャツ大作戦in登別』は、ピンク色のものを身につけることでいじめ反対の意思表示をするカナダ発祥の『ピンクシャツデー』を市で実施するもの。準備を進めてきた同実行委員会委員長の竹谷海音さんは「自分に関係ないと思っている人こそ参加してほしい」と呼びかけています。



▲オリジナルのTシャツを着た実行委員会の皆さん（前列5人）



▲協定を取り交わす株式会社ナチュラルサイエンスの小松令以子代表取締役社長(中央)、白老町の戸田安彦町長(右)、小笠原市長(左)